

日向ぼっこが大好き

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



ワオキツネザル

マダガスカル島南部に生息するワオキツネザル。不思議なところがたくさんあります。

まずは名前から…。ワオキツネザルのワオはワオ！と鳴くから、ではなく、輪尾（ワオ）。尻尾の白黒のシマシマが輪（リング）状に入っていることから輪尾（ワオ）と名付けられました。キツネなのか？ サル

なのか？ 少しややこしいですが、キツネではなくサルの仲間。キツネ顔のサルという意味でキツネザルです。でもワオキツネザルを見ると、なんだかサルっぽくない…。理由はワオキツネザルがサルの仲間の中でも原始的なサルだからです。そのため、まだ進化しきれない部分を持っています。それは、体温を調節すること。体温調節が苦手なワオキツネザルは、体を温めるために日向ぼっこをします。座って、太陽の方を向いて両手を上に広げる格好をしていたら日向ぼっこ中です。

今は何をしているか、ぜひ、ワオキツネザルたちを見に来てみてくださいね。

（飼育ふれあい係 駒村紅杏）



須坂市動物園で飼育している
ワオキツネザル（同園提供）